

【説明資料】 発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的, 利用方法, 作品自体やその製作過程で工夫したことを, 文章, 写真, 図などで説明。この用紙1枚に記入し, PDFファイルに変換した後, ホームページに貼り付けてください。

学校名	熊本大学	個人・グループ名	徳一 暁之	作品名	斜め10° 座卓
<h3>1. はじめに</h3> <p>今まで学んできた技術を確認、より向上できるような作品を製作しつつ、実生活でも活用できるものということで今回の「斜め10° 座卓」にたどり着きました。</p>					
<h3>2. 利用方法</h3> <p>想定したのは「ベッドに寝ころがりながらノートパソコンを扱える座卓」ということで、今回はこの目的以外にもただの座卓として利用できる良い作品ができたと自負しております。</p>					
<h3>3. 作品詳細</h3> <p>木材はできるだけエコに仕上げるということで、他の製作で余った材木を利用した。天板 600×400 杉材、脚 高さ 250 杉材となっており、それぞれの脚の間は400 あります。最後は油性ニスで仕上げました。</p>					
<h3>4. 工夫点</h3> <ol style="list-style-type: none"><li>① 今回はほぞ組みと接着剤で組み立てており、釘などは使用していません。</li><li>② 高さ 250 というのは仰向けに寝た際の体の高さ 200 に合わせて設計してあります。</li><li>③ 脚のあいだには木の柱が渡してあり、CD などを入れるスペースになっています。</li><li>④ 脚の角度は10° で開いており体がぴったりフィットします。</li></ol>					
<h3>5. 製作を終えて</h3> <p>今回の製作では斜め 10° のほぞ穴加工など、自分の技術では少し難しいものでした。ですが、がたつきもなく仕上げも丁寧なできとなっており、実際に快適に使用」できています。今後は座卓に対応した座椅子を製作するなど木材加工の技術を高めていきたいと思います。</p>					

